

## さんりく 明日へ

東日本大震災を乗り越えて、前に進もうとする三陸の人たちからのメッセージを届けます。

海に臨む喫茶店のマスター

あ  
べ  
ち  
か  
ら  
安  
倍  
主  
税  
さ  
ん

拾った命だから、  
ゆつくりやっつけていきます

宮古湾を一望する岩場に建つ喫茶店「異人館」。マスター・安倍主税さんの父が、横浜市にある洋館を模し、細部までこだわり抜いて建てたものだ。津波で1階の天井まで浸水し、安倍さんも九死に一生を得た。

「不思議なことにシャンデリアが残り、床板も津波に耐えた。だから、この店は復活させなければと思いました」と安倍さん。自ら床を磨き、修復工事の陣頭指揮を取り、準備を進めた。塔の真下に位置するスペースは、完全に震災前の姿に戻した。床の傷は、アンティークな味わいへと変わった。今年4月に営業を再開。復活を喜ぶ市民はもちろん、内陸に

住む人たちも足を運ぶ。「お客さんが、『私たちはここで出会った』『亡くなった友達と来た』など、いろいろな思い出話を聞かせてくださるんです。たくさんの人の人生に関わってきた店だったんだなあと、改めて思いました」

趣味で撮りためた宮古の海の写真は、津波の被害を免れた震災前のふるさとの姿を見られるようにと、モニターを設置した。「仮設住まいの人、復興の仕事で沿岸に来ている人……。皆さん、大変だと思うので、ここでゆつくりして欲しい」と話す。安倍さん自身も、ゆつくりやっつけていくつもりだ。「拾った命だからね」と、穏やかな笑顔を見せた。



建物を支える石垣部分には、今も津波の爪あとが残る。防潮堤が再建されると、1階から海が見えなくなるという。「海とともにある店だから寂しいね」と安倍さん。基礎部分を嵩上げできるものなら……と、想いを巡らせている。

異人館  
岩手県宮古市高浜1-1-10  
定休日／火曜  
<http://ijinkan2.exblog.jp/>

